



① 申請者	◎富士市・沼津市		
② タイトル			
(ふりがな)	するがわんのめぐみとゆきかうふね		
駿河湾のめぐみと行き交う船			
③ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>駿河湾の船の歴史は古代以前にさかのぼり、スルガの国は水上交通とカツオを特長として発展した。戦国時代には水軍も活躍し、また、幕末には近代造船の原点となる日本初の本格的洋式帆船建造の舞台にもなった。</p> <p>駿河湾は、富士山とともに美しい景色を織りなし、また、深海と黒潮による豊富な水産物をもたらしている。古今、そこには船が行き交い、漁民による信仰と芸能も今に伝わる。訪れた人は、眺望と食のめぐみをたのしむことができる。</p>			
駿河湾と富士山が織りなす風景（富士市、沼津市）			
浅間古墳（レーザー測量）		長浜城跡	ディアナ号の錨 (三四軒屋区公会堂南)
④ 担当者連絡先			
担当者氏名	富士市教育委員会文化財課		
電話	0545-30-7850	FAX	0545-30-6210
E-mail	ky-bunkazai@div.city.fuji.shizuoka.jp		
住所	〒417-0061 富士市伝法 66-2		



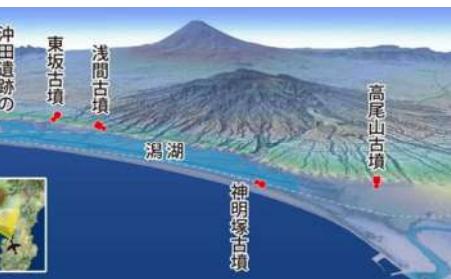
ストーリー

○ 駿河湾の船の歴史 1～スルガの国づくりと船～

駿河湾を行き交う船。その歴史は古代以前にさかのぼり、スルガの国づくりにおいて船が重要な役割を担っていた。

スルガと呼ばれる国は、古墳時代の6世紀までに倭王權によって設置された珠流河國造にはじまる。その領域は富士川から狩野川周辺に及ぶが、そもそも3～4世紀の有力首長は水上交通の掌握を背景に影響力を發揮し、駿河湾と浮島ヶ原の潟湖を一望する場所に前方後方墳や前方後円墳を築いた。また、潟湖の西端に位置する沖田遺跡からは、準構造船を転用した墓と銅鏡が発見されており、潟湖をめぐる水上交通の存在と、そこに活躍した人物と船の重要性を物語っている。

律令国家確立後の8世紀以降、駿河国や伊豆国は、カツオ製品を多く都に貢納した。カツオ製品は重要貢納品に指定されており、駿河湾の漁は国家中枢の食文化と財政、儀礼を支える基盤となっていたといえる。このことは、『延喜式』や都城跡出土の荷札木簡の記録に加え、カツオを煮たと考えられる堀形土器が駿河湾沿岸の遺跡から多く出土していることによって裏づけられる。



古代以前の地形と有力首長の古墳、船の出土地



古代のカツオ関連出土品

○ 駿河湾の船の歴史 2～軍船・廻船の活躍～

戦国時代には、今川氏や武田氏、北条氏の水軍が制海権を巡る争いや海上交通の管理、物流の確保に携わった。天正8年（1580年）の駿河湾海戦では、長浜城を拠点とする北条水軍と武田水軍が激突し、北条方は大砲を備えた安宅船と呼ばれる大型軍船10艘を投入したと伝えられている。北条水軍と地元住民との深い関係や、吉原湊による軍事物流の実態も古文書からうかがえる。

駿河湾では、漁の船に加え、人や物を輸送する廻船が行き交っていた。戸田港の近くに明治時代初期に建てられた擬洋風建築の松城家住宅は、江戸時代からの廻船業による繁栄を今に伝えている。



安宅船（復元模型）

○ 駿河湾の船の歴史 3～優れた造船の地～

船の活躍の背景には、優れた造船があった。養老4年（720年）に完成されたとされる『日本書紀』には、応神天皇が伊豆国に命じて長さ約30mの巨船を建造させた記述がある。また7～8世紀に編纂された『万葉集』には、「伊豆手の船」が大伴家持の短歌に登場する。いずれも航行性能が評価されており、伊豆半島の豊富な木材資源と高い造船技術がうかがえる。



歴史学習施設ディアナ号
(ふじのくに田子の浦みなど公園)

江戸時代の嘉永7年（1854年）、下田に来航したディアナ号が大地震と津波の被害を受け、修理のため戸田に向かうも漂流し、現富士市の沖合で沈没した。乗艦を失ったチャーチン提督は代替船の建造を幕府に願い出て、戸田での造船が許可された。これに協力したの

が戸田の船大工たちで、日本初の洋式帆船「ヘダ号」が建造された。船大工は造船界の担い手となり、駿河湾は日本近代造船の原点の地として、その発展に貢献した。

○ 駿河湾の風景と船

駿河湾は、富士山とともに美しい景色を織りなし、古今、そこには船が行き交っている。

東海道を西から進み、^{さったとうげ}薩埵峠を越えて富士川に差しかかると、富士山と駿河湾の壮大な風景が目の前に広がる。『万葉集』の代表歌人である山部赤人は、仰ぎ見る富士山をたたえる和歌を詠み、江戸時代の浮世絵師は、船が浮かぶ穏やかな駿河湾と富士山を描いた。

駿河湾の北に広がる浮島ヶ原も浮世絵に登場する。湾の一部が砂礫州によって潟湖になり形成された湿地帯で、農作業には厳しい環境であったが、旅人を癒す風光明媚な地でもあった。陸路の東海道は砂礫州上をはしるが、吉原宿が水害により内陸に移転したため、その東で大きくカーブするようになり、西へ旅しながら富士山を左手に望む「左富士」の名所が生まれた。この湿地帯では、昭和30年代まで船も交通手段に使われていた。

緩やかな弧状の海岸には、千本松原と呼ばれる松林が続く。^{かの}狩野川を越えると旧沼津御用邸苑地があり、近代における海辺の保養地の景色を伝えている。さらに進むと、伊豆半島の複雑な地形となり、豊かな自然と漁船が出入りする港の景色に出会うことができる。



歌川広重「東海道五十三次 由比」



歌川広重「東海道五十三次 吉原」

○ 駿河湾のめぐみと漁の民俗

駿河湾には、豊富な水産物をめぐみとした食文化があり、船で働く漁民の信仰と芸能も今に伝わる。

駿河湾は水深2,500mに達する日本一深い湾であり、栄養豊富で清浄な海洋深層水と、富士山からのミネラル豊富な湧水によって、水産資源の生育に適した環境が形成されている。また、黒潮の暖かい流れによって集まる水産物にも恵まれている。

田子の浦港では鮮度と形の良さが抜群の「田子の浦しらす」、沼津港ではアジ、カツオなど様々な深海魚、戸田港では深海のタカアシガニやメヒカリ、アカザエビなどが名物であり、各地でとれたての水産物を活かした食文化を楽しむことができる。

かつての漁撈用具や『豆州内浦漁民史料』からは、駿河湾の伝統的な漁や暮らしの様子がうかがえる。また、大瀬崎にはビャクシン樹林に囲まれた神池があり、海の守護神として信仰されてきた大瀬神社が鎮座する。明治時代から続く大瀬まつりや漁船模型の奉納



田子の浦しらす



大瀬まつり

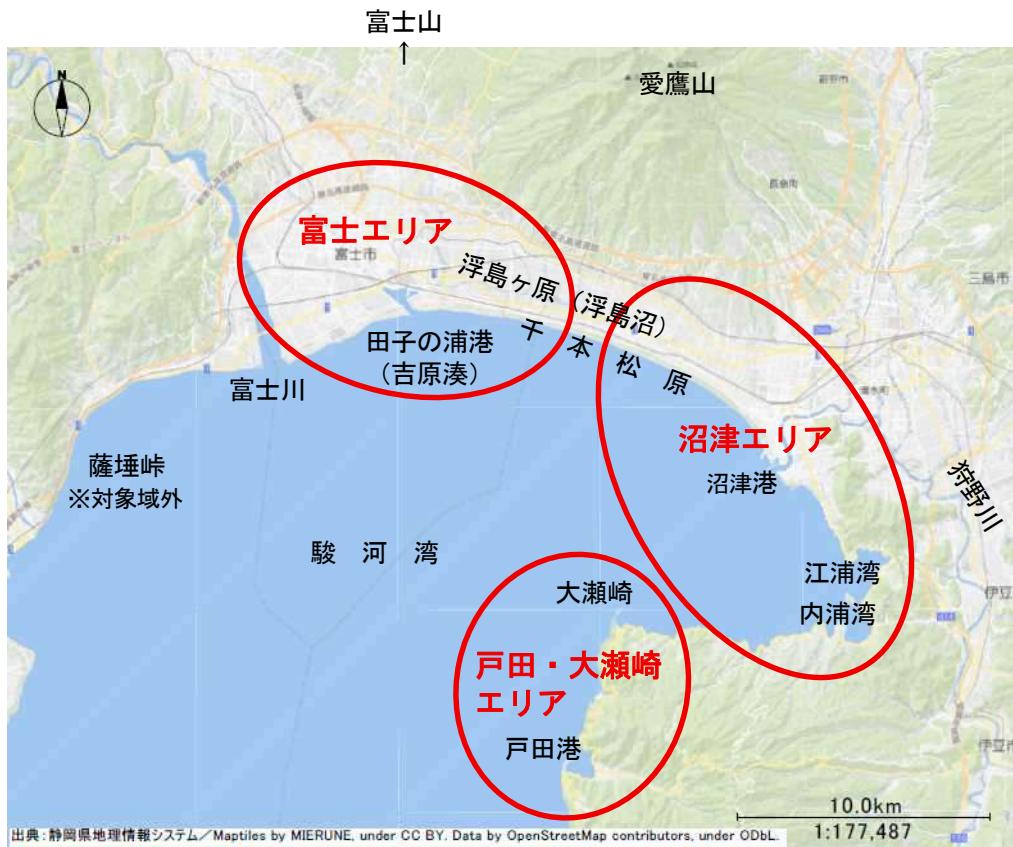
は、海への祈りを象徴している。周辺各地には漁民の信仰を伝える絵馬が残され、戸田では江戸時代からの漁師踊・漁師唄が今に受け継がれている。

構成文化財の構成について

本遺産は、駿河湾の船をキーワードとしたストーリーであり、「船の歴史」「風景と船」「めぐみと漁の民俗」の3要素が歴史的に関連して認められる点に特性がある。地域については、それぞれ港と町を中心とした「富士」「沼津」「戸田・大瀬崎」の3つのエリアに分けることができる。

3つのエリアそれぞれに3要素の構成文化財があり、さらに関連展示施設がある。エリアの個性を持ちながら共通点もあり、本遺産の特性を全域に認めることができる。

	【富士エリア】	【沼津エリア】	【戸田・大瀬崎エリア】
要素1 【船の歴史】	①浅間古墳 ②東坂古墳出土品 ③沖田遺跡出土準構造船及び銅鏡 ④古代カツオ関連出土品 ⑤矢部家文書 ⑥ディアナ号の錨	⑫高尾山古墳・出土品 ⑬神明塚古墳 ④古代カツオ関連出土品 ⑯長浜城跡 ⑮千本浜の首塚	⑫松城家住宅 ⑬洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所附関係遺品一括 ⑯ディアナ号の錨
要素2 【風景と船】	⑦浮島沼と富士山 ⑧浮島沼周辺の農耕生産用具 ⑨吉原宿跡 ⑩千本松原	⑯浮島沼の水田と富士山・愛鷹山 ⑧浮島沼周辺の農耕生産用具 ⑯千本松原 ⑯旧沼津御用邸苑地	⑯大瀬崎のビャクシン樹林 ⑯御浜岬のイヌマキ群生地
要素3 【めぐみと漁の民俗】	⑪田子の浦しらす	⑯沼津のアジ ⑯沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具 ⑯内浦・西浦の養殖いけす ⑯沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	⑯戸田のタカアシガニと深海魚料理 ⑯大瀬崎の神池・大瀬神社 ⑯大瀬まつり ⑯大瀬神社奉納漁船模型 ⑯沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬 ⑯戸田の漁師踊・漁師唄
関連展示施設 ★:構成文化財所蔵	富士山かぐや姫ミュージアム★ 富士市立歴史民俗資料館★ 歴史学習施設ディアナ号	沼津市歴史民俗資料館★ 沼津市文化財センター★ 沼津港深海水族館	戸田造船郷土資料博物館★ 駿河湾深海水族館



ストーリーの構成文化財一覧表

【富士エリア】

番号	ふりがな 文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
①	せんげんこふん 浅間古墳	国指定 (史跡)	【船の歴史】 東海地方最大規模を有する前方後方墳。駿河湾を走行する船からより大きく見えることを意識して造られており、古墳時代のランドマーク。	富士市
②	ひがしさかこふんしゅつどひん 東坂古墳出土品	市指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 駿河湾からの高い視認性を誇る前方後円墳から出土した銅鏡や精巧な石製品が出土している。	富士市
③	おきたいせきしゅつどじゅんこうぞう 沖田遺跡出土準構造 せんおよびじゅうこう 船及び銅鏡	未指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 古墳時代に浮島沼で活躍した船。船としての使用を終えたのち、内湾交通を率いたリーダーの亡骸を埋葬する棺に転用され、銅鏡も副葬されている。	富士市
④	こだい かんれんしゅつどひん 古代カツオ関連出土品	未指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 駿河湾・浮島ヶ原周辺の古代遺跡に多いカツオ加工用と考えられる堀形土器、運搬用と考えられる壺形土器などの出土品。	富士市・沼津市
⑤	やべけもんじょ 矢部家文書	未指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 吉原湊の管理・活動の権利を矢部孫三郎に認めた今川義元の書状や家康により吉原宿が東海道の正式な宿場であることを示す「伝馬朱印状」などを含む資料群。	富士市
⑥	ディアナ号の錨 ごう いかり	市指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 幕末のヘダ号建造のきっかけとなつた沈没船の錨。2つの錨はそれぞれ引き上げられ、富士市と沼津市に1つずつ保存、展示されている。	富士市・沼津市
⑦	うきしまぬま ふじさん 浮島沼と富士山	未指定 (文化的景観)	【風景と船】 北に日本一高い富士山を仰ぎ、愛鷹山	富士市

			と駿河湾に挟まれた低地部には浮島沼が広がり、かつて舟が主な移動手段として使用されていた。	
⑧	浮島沼周辺の農耕 生産用具	県指定 (有形民俗)	【風景と船】 浮島ヶ原の湿田地帯特有の農耕生産用具。深田における稲作の全過程を網羅的に見ることができる。	富士市・沼津市
⑨	吉原宿跡 (元吉原宿 遺跡・中吉原宿遺跡・ 新吉原宿遺跡)	未指定 (史跡)	【風景と船】 江戸日本橋と京三条大橋を結ぶ東海道 14 番目の宿場。高潮などの被害を受け、移転を繰り返し、現在の吉原商店街に通じる。遺跡に高潮の痕跡が残る。	富士市
⑩	千本松原	未指定 (名勝)	【風景と船】 狩野川河口付近から富士市吉原に至る砂礫州上の風光明媚な松林。砂礫は主に富士川を起源として駿河湾の海流や風によって運ばれ堆積している。	富士市・沼津市
⑪	田子の浦しらす	未指定 (無形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 シラス舟一艘曳きを主に、刺網、観光地引網、遊漁船漁がおこなわれている。平成 29(2017) 年には「田子の浦しらす」が、令和 3(2021) 年には「釜揚げしらす」が地理的表示 (GI) 保護制度に登録されている。	富士市

【沼津エリア】

番号	ふりがな 文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
⑫	高尾山古墳・出土品	国指定・未指定 (史跡・美術工芸品)	【船の歴史】 古墳時代初頭の東日本における、最古級かつ最大級の前方後方墳。駿河湾沿岸を広く望み、副葬品や多量の土器の特徴から広域的な交流が評価できる。	沼津市
⑬	神明塚古墳	市指定 (史跡)	【船の歴史】 駿河湾の海岸の砂礫州上に築造された前方後円墳。高尾山古墳に続く有力者の古墳であると評価できる。	沼津市

④	古代カツオ関連出土品 こだい かんれんしゅつどひん	未指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 ※富士エリアに前掲	富士市・沼津市
⑯	長浜城跡 ながはまじょうあと	国指定 (史跡)	【船の歴史】 戦国時代の北条氏の水軍が拠点としていた城跡。隣接する重須湊には、安宅船などの軍船を停泊させていたと考えられる。	沼津市
⑰	千本浜の首塚 せんぼんはま くびづか	未指定 (史跡)	【船の歴史】 明治時代に発見された多くの頭蓋骨を集めた首塚で、北条水軍と武田水軍の駿河湾海戦にはじまる千本浜の合戦による死者と考えられている。	沼津市
⑯	浮島沼の水田と富士山・愛鷹山 うきしまぬま すいでん ふじさん あしたかやま	未指定 (文化的景観)	【風景と船】 富士山・愛鷹山を背景とした浮島ヶ原の風景を伝える田園の景観。湿地帯は干拓により水田地帯となっている。	沼津市
⑧	浮島沼周辺の農耕生産用具 うきしまぬましうへん のうこう せいさんようぐ	県指定 (有形民俗)	【風景と船】 ※富士エリアに前掲	富士市・沼津市
⑩	千本松原 せんぼんまつばら	未指定 (名勝)	【風景と船】 ※富士エリアに前掲	富士市・沼津市
⑰	旧沼津御用邸苑地 きゅうぬまづごようていえんち	国指定 (名勝)	【風景と船】 明治～大正時代に造営された旧御用邸の苑地。クロマツ林越しに富士山を望むなど、近代日本における海浜保養地の優れた風致景観を伝えている。	沼津市
⑱	沼津のアジ ぬまづ	未指定 (無形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 沼津の代表的な水産物。近海ものの水揚げだけでなく、主要な養殖魚もあり、新鮮なアジ料理のほか、アジの干物は全国的に有名である。	沼津市
⑲	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具 ぬまづうちうら しずうらおよ しゅうへんちいき ぎょろうようぐ	国指定 (有形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 駿河湾最奥部における漁撈用具。地先や沖合での漁撈の様相や漁法の変遷、漁に関わる習俗を知ることができる。	沼津市
⑳	内浦・西浦の養殖いけす うちうら にしうら ようしょく	未指定 (文化的景観)	【めぐみと漁の民俗】 波が静かな湾内に浮かぶ養殖いけす。江戸時代にはタイの畜養が始まり、今でもアジやタイなどが養殖され、特産	沼津市

			となっている。	
㉑	沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	市指定 (有形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 明治～昭和時代の漁業の様子を描いた絵馬。沼津の沿岸各地の神社に奉納されており、近代日本の漁業史と信仰の特徴を伝えている。	沼津市

【戸田・大瀬崎エリア】

番号	ふりがな 文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
㉒	松城家住宅	国指定 (建造物)	【船の歴史】 江戸時代後期から戸田で廻船業を営み、財を成した松城家の住宅。漆喰錆絵など伝統技術により洋風意匠を実現した明治初期の擬洋風住宅である。	沼津市
㉓	洋式帆船建造地及びチャーチン宿所附関係遺品一括	県指定 (史跡)	【船の歴史】 ヘダ号建造の関係地と遺品。ヘダ号建造の後、同型船6隻も建造している。西洋の造船技術を実地に知る土地となり、日本造船業の発展に貢献した。	沼津市
⑥	ディアナ号の錨	市指定 (美術工芸品)	【船の歴史】 ※富士エリアに前掲	富士市・沼津市
㉔	大瀬崎のビャクシン樹林	国指定 (天然記念物)	【風景と船】 駿河湾に突き出た砂嘴に群生するビャクシンの樹林。伊豆半島における自生ビャクシンの北限を示す。	沼津市
㉕	御浜岬のイヌマキ群生地	県指定 (天然記念物)	【風景と船】 戸田の湾口に発達した砂嘴上に広がるイヌマキの群生地。イヌマキをはじめとした自然の繁殖を示す。	沼津市
㉖	戸田のタカアシガニと深海魚料理	未指定 (無形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 戸田に水揚げされる深海の水産物。特に深海生物であるタカアシガニの料理は名物となっている。	沼津市
㉗	大瀬崎の神池・大瀬神社	未指定 (史跡)	【めぐみと漁の民俗】 駿河湾に突き出た砂嘴にできた真水の池と、海の守護神として漁民たちに崇敬されている神社。大瀬神社は式内	沼津市

			社で、神池はその境内にある。	
㉙	おせ 大瀬まつり	未指定 (無形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 大瀬神社で毎年4月4日に行われる例祭。女装した青年達が踊り船に乗り、お囃子に合わせて踊ることから、天下の奇祭とも呼ばれている。	沼津市
㉚	おせ じんじやほうのうぎょせんもけい 大瀬神社奉納漁船模型	県指定 (有形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 漁船を新造した際に海上安全と豊漁を祈願するために、大瀬神社に奉納した船の模型。明治から昭和にわたる木造漁船とその信仰を物語る。	沼津市
㉛	ぬまづえんがん ぎょろう かん 沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	市指定 (有形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 ※沼津エリアに前掲	沼津市
㉜	へだ りょうしおどり りょうし 戸田の漁師踊・漁師唄	県指定 (無形民俗)	【めぐみと漁の民俗】 寛永年間に紀州家の御用船の船歌としてうたわれていたものが安永年間に戸田に伝えられ、漁師によって伝承されてきた踊りと唄。	沼津市

構成文化財の写真一覧

【富士エリア】



①浅間古墳



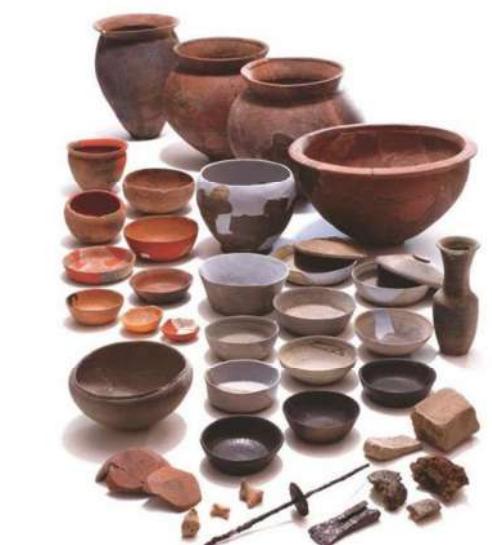
②東坂古墳出土品



③沖田遺跡出土準構造船及び銅鏡



⑤矢部家文書



④古代カツオ関連出土品



⑥ディアナ号の錨



⑦浮島沼と富士山



⑧浮島沼周辺の農耕生産用具



⑨吉原宿跡（中吉原宿遺跡）



⑨吉原宿跡（元吉原宿遺跡）



⑩千本松原



⑪田子の浦しらす

【沼津エリア】



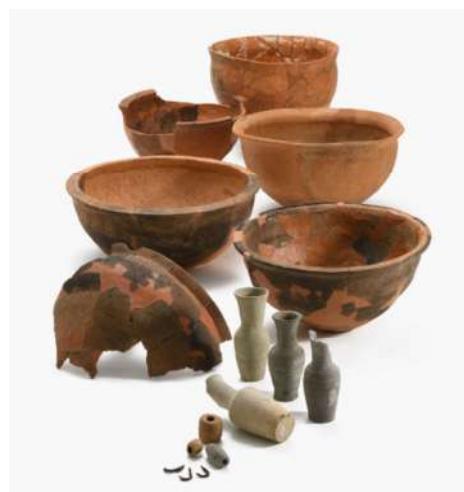
⑫高尾山古墳・出土品（古墳）



⑫高尾山古墳・出土品（出土品）



⑬神明塚古墳



⑭古代カツオ関連出土品



⑮長浜城跡



⑯千本浜の首塚



⑯浮島沼の水田と富士山・愛鷹山



⑯浮島沼周辺の農耕生産用具



⑰千本松原



⑰旧沼津御用邸苑地



⑯沼津のアジ



⑯沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具



⑪内浦・西浦の養殖いけす



⑫沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬

【戸田・大瀬崎エリア】



⑬松城家住宅



⑭洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所附関係遺品一括



⑮ディアナ号の錨



⑯大瀬崎のビャクシン樹林



㉕御浜岬のイヌマキ群生地



㉖戸田のタカアシガニと深海魚料理



㉗大瀬崎の神池・大瀬神社



㉘大瀬まつり



㉙大瀬神社奉納漁船模型



㉚戸田の漁師踊・漁師唄



市町の位置図（地図等）



構成文化財の位置図（地図等）

【富士エリア】



【沼津エリア】



【戸田・大瀬崎エリア】

